

神戸新聞社 × 関西学院大学

「神戸スタートアップオフィス事業」

若き挑戦者を応援

「十を活用し、革新的なビジネス創出を目指す起業家（スタートアップ）を支援する「神戸スタートアップオフィス事業」。拠点となるオフィスが27日、神戸・三宮の商業施設「ミント神戸」に開設される。2月1日から展開される支援プログラムなど事業の概要について解説し、支援対象となる起業家5チームの各代表者がそれぞれのビジネスプランを紹介する。

起業家の活動サポート

「神戸スタートアップオフィス事業」は神戸市が経済活性化や雇用創出を目指して立ち上げた新規施策だ。市の補助事業として、包括的な連携協定を結ぶ神戸新聞社と関西学院大学が共同で運営。同社のパートナーセンター1地域連携室が中心となり、起業家5チームを約3カ月間支援するアクセラレーションプログラムを実施する。支援対象の5チームは

来月1日から開始

昨年末のビジネスコンテストで、国内外から応募があった47チームの中から選ばれた。このプログラムでは、1チーム当たり180万円の活動資金を提供。プランの実践的な助言・指導を行う「メンタリング」では、メンターと呼ばれる専門家やパートナー企業が事業化を後押しする。

パートナー企業として、アクセラマーク、池田泉州銀行、KDDI、シナジーマーケティング、日本マイクログソフト、野村證券、三井住友銀行、みずほ銀行、楽天ベンチャー・ロックオンの10社が参画。各企業が持つ知見や人材を提供し、資金面でサポートも検討する。財務、法務面での知

識を深めるためのセミナーなどを随時開催する。プログラム終盤にはベナンチャーキャピタルや投資家、企業向けにプランを披露する「デモデー」を開催。資金調達の機会を設け、さらなる事業拡大を支援する。夏にも第2期プログラムが始まる予定で、約2年半で計25チームを支援する。

1チーム 資金180万円を提供



市街地を一望する開放的な雰囲気「神戸スタートアップオフィス」いずれも神戸市中央区雲井通7

窓から神戸一望、充実の設備 創造性を刺激する空間

窓から一望する神戸中心部の市街地と六甲山系の山並み。明るく開放的な空間が、革新的なビジネス創出の拠点となる。

神戸・三宮の商業施設「ミント神戸」（神戸市中央区雲井通7）14階の一室に開設される「神戸スタートアップオフィス」。広さは約100平方メートルで、利用者が自由に使える無線LANを整備。事業プランの発表、セミナーなどで利用するミニステージと大型モニター

きょう三宮にオフィス開設

を備え付ける。支援対象の起業家やメンターが定期的に集い、ビジネスプランを洗練させていく。

座席は利用者の場所を固定しない「フリーアドレス制」だ。テーブルは多彩な円弧を描くデザイン。グループでの打ち合わせや個人での制作作業など用途に応じ利用場所を選べるなど、オフィスを訪れる人たちの創造性を刺激し、交流を活性化させる。



オフィスのロゴがあしらわれた入り口の壁面



徳山寿吉・ハイブリッドマーケティング社長
とくやま・ひさよし ウェブマーケティングの支援、コンサルティングなどを手掛ける「ハイブリッドマーケティング」（大阪市）代表取締役社長。大学卒業後、金融業界、大手証券会社、専門商社、上場ウェブ広告代理店を経て、同社を起業。営業職経験があり、広告代理店では広告運用管理業務に従事。

西本凌・関西学院大学大学院教授
にしもと・りょう 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授。神戸新聞社IT起業支援・戦略事業顧問。マサチューセッツ工科大学経営大学院修了（MBA取得）。京セラで経営指導に参画後、ナカノス（現ミツカン）代表取締役社長、デジタルガレージ取締役兼最高執行責任者（COO）などを歴任。関学大ではベンチャービジネス事例研究などの科目を担当。

メンタリングでは、試作品をつくり、顧客の反応を見ながら製品・サービスの質向上を図る米・シリコンバレー発の「リソーススタートアップ」といった手法を導入。オフィス外での活動も含めたさまざまな取り組みを通じて、支援ネットワークの構築を目指す。

成功者らが指導、育成

西本氏、徳山氏が統括

支援プログラムを統括するのは、実務家としての経験豊富な西本凌・関西学院大学大学院教授とIT企業家の徳山寿吉・ハイブリッドマーケティング社長だ。2人はそれぞれ週1回、神戸・三宮の「神戸スタートアップオフィス」に駐在し、事業計画の策定に向けたフォローアップを行う。各起業家には、プラン内容に応じて個別指導するメンター（支援者）を起用。成功を収めた企業家やIT関連の部課長などが指導に当たる。各起業家はメンターと直接面談するほか、インターネット電話、メールなどの情報交換を通じてプランに磨きをかける「メンタリング」を重ねる。

支援プログラムの概要



独自の助成金やセミナー

金融・証券会社からの支援

起業家の支援プログラムのなかには、創業支援プログラムとして参画する金融機関、証券会社が起業家のビジネスプランを事業が本格化すると必要になる運転資金の調達をサポート。起業家共創業を支援する。トランプと企業やベンチャーキャピタルを連携させる。また、地域とのネットワークを深め、個々の事業がより発展するためにビジネスマッチングなどを提案し、各種セミナーを実施する。また、地域とのネットワークを深め、個々の事業がより発展するためにビジネスマッチングなどを提案し、各種セミナーを実施する。また、地域とのネットワークを深め、個々の事業がより発展するためにビジネスマッチングなどを提案し、各種セミナーを実施する。



神戸市長・久元喜造氏

世界へはばたく滑走路に

び込み、人の流れをつしながら、神戸の既存の民間事業者や地域社会との間でもつながり優秀でアイデア豊富な人材を育てていくこと。若い世代が、ビジネスで、神戸の産業活性化の第一歩を神戸でスタートさせて、それを次の世代に引き継いでいく。新しい力を持ったスタートアップたちの活躍が、神戸の産業振興の可能性を切り開く。そして、神戸で起業したスタートアップが国内外で幅広く活躍を待っている。



もっといっしょに。